

平成 25 年 6 月 21 日

国土交通大臣 殿

地域型住宅ブランド化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅ブランド化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称: 三重の木でつくる「美し国の家」

グループの名称: 「美し国の家」普及促進協議会

平成24年度
採択グループ番号: 01-0252-0244

(平成25年度新規グループは、採択グループ番号は必要ありません)

(グループ代表者)

代表者名: 坂 英哉 代表者印
代表者所属先: 三栄林産 株式会社
代表者構成員番号: II-3
代表者住所: 三重県亀山市加太中在家8032-1
電話番号: 0595980114

(グループ事務局)

事務局事業者名: 旭建材 株式会社
事務局構成員番号: III-2
事務局担当者名: 宮島 純一 印
事務局郵便番号: 514-0816
事務局住所: 三重県津市高茶屋小森上野町2793-8
事務局電話番号: 0592343301
事務局FAX: 0592344646
事務局担当者E-mail: miyajima@asahikenzai.co.jp

※ 平成24年度採択グループは、平成24年度に提出された適用申請書から変更点がある場合、その変更点がかかるように(文字の色を変更する、下線を引く等)記載して下さい。

■他の様式にリンクしますので、全て正確に記載してください。

1. 地域型住宅の名称(必須)	三重の木でつくる「美し国の家」		
2. グループの名称(必須)	「美し国の家」普及促進協議会		
3. 地域型住宅供給対象地域(必須)	三重県 北勢・中南勢 地域		
4. 結成年月(必須)	平成24年4月		
5. グループ代表者名(必須)	坂 英哉		
6. グループ代表者の所属先(必須)	三栄林産 株式会社		
7. グループ代表者の構成員番号(必須)	II-3		
8. グループ代表者所在地(必須)	三重県亀山市加太中在家8032-1		
9. グループ代表者電話番号(必須)	0595980114		
10. グループ事務局事業者名(必須)	旭建材 株式会社		
11. グループ事務局の構成員番号(必須)	III-2		
12. グループ事務局担当者名(必須)	宮島 純一		
13. グループ事務局郵便番号(必須)	514-0816		
14. グループ事務局所在地(必須)	三重県津市高茶屋小森上野町2793-8		
15. グループ事務局電話番号(必須)	0592343301		
16. グループ事務局FAX番号(必須)	0592344646		
17. グループ事務局担当者E-mail(必須)	miyajima@asahikenzai.co.jp		
(構成員数) ※様式2-2の各シートからリンクする為、入力はありません。			
I. 原木供給	3		
II. 製材・集成材製造・合板製造	3		
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	3		
IV. プレカット	4		
V. 設計	5		
VI. 施工	26		
VII. 木材を扱わない流通			
VIII. I～VII以外の業種	1		
A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称
	「三重の木」認証材	三重県全域	「三重の木」認証制度
B. 平成25年度における地域型住宅の供給予定戸数等 (必須)	地域型住宅の供給予定戸数	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)	
	200 戸 うち長期優良住宅 40 戸 地域型住宅による地域材使用予定 280 m ³ うち長期優良住宅分 280 m ³	本補助金の活用により、長期優良住宅の割合を増やすことに取り組むこととし、いままで長期優良住宅の建設が無い施工(工務店)が1戸受注することも目指す。全体で平成24年度地域型住宅ブランド化事業の実績16戸の倍の32戸を基準に、新たに取り組む施工(工務店)分の8棟を加え40戸を設定。 (左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等) 地域型住宅には過半以上の地域材を使用する事としていることから、1戸あたり平均7m ³ を使用するものとして左記地域材使用予定量を設定。	
C. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	○当初各施工(工務店)へ1戸づつ配分。その上で各施工(工務店)の受注状況を考慮し配分。期間を決めて進捗状況を把握し、先着順も採用する。		
D. 平成24年度の執行状況 (H24年度採択グループのみ必須)	採択戸数 注4	交付申請件数	完了実績見込み
	18 戸	17 戸	竣工済 11 戸 竣工予定 5 戸

注1)代表者の所属先及び事務局事業者名は略さず正式名で記載してください。例:株式会社○(株)×

注2)郵便番号は、ハイフンありで半角入力 例:123-4567

注3)電話番号・FAXは、ハイフンなしで半角入力 例:0123456789

注4)採択戸数は最終的な配分戸数を記入して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 三重の木でつくる「美し国の家」	(地域型住宅供給対象地域) 三重県 北勢・中南勢 地域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 「美し国の家」普及促進協議会	(結成年月) 平成24年4月
3. 平成24年度のグループ番号 (必須)	0 1 - 0 2 5 2 - 0 2 4 4	注1

4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み

ア. 特徴あるブランド化の目標設定 (必須)

【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)

a. 【三重の木でつくる「美し国の家」の取り組み】

- ・三重県(美し国)は、全国でも有数な良質木材(ひのき・杉)の産地である。その三重県で品質管理・安定供給とも信頼性が高い「三重の木」認証材を活用し、次世代に受け継ぐ地域型長期優良住宅を構成員が連携して実現する。
- ・当地域は温暖な気候に恵まれ過ごしやすく”四季が楽しめる”地域である。その気候・風土を活かす地域型住宅を目指している。反面、南海トラフを震源とする大地震への備えや、大型台風などの風雨への備えが必要な地域でもある。
- ・伊勢神宮を代表に歴史と文化がある地域である。自然環境に恵まれ山海の幸も豊富で地産地消の意識も高い。当グループは「松阪もめん」や「蜜蝋ワックス」などの地域産業を取込むことで、地域型長期優良住宅を特徴あるものにしてゆく。この地域特性への対応を前提として、下記取り組みを行う。

- 「三重の木」認証材を地域材とし、主要構造材についてはその過半以上「三重の木」認証材とする。またその他の部位(①その他構造材・②造作材・③内装材)で「三重の木」認証材を1箇所以上使用する。
- 「自然と共存できる省エネルギーな家づくり」をめざし、風通しや日射のコントロールを重視する。その為にグループのルールを事前に構成員に周知し信頼性の高い地域型住宅建設を目指す。
- 台風時の減災対策(台風シーズン前の注意喚起など)を行う。また自然災害発生時(地震・洪水等)に備えた「災害に強い家づくり」を目指す。地域型住宅の間取りの中に防災バックの設置位置や水の備蓄位置を取り込む。
- 家族構成や生活様式に長い年月の間対応し「住み継ぐことができる家づくり」を目指し、スケルトンインフィル(可変間仕切り)の箇所を必ず一箇所設ける。

【平成24年度の取り組みにおける課題】

- ・当グループは地元産出の「三重の木」を活用して建てる長期優良住宅で、地場工務店と地場業者が連携して、長い期間地域の「家守り」となることを目指している。しかし消費者に対する認知活動は構成員個々の対応に依存しているため、消費者にこの意図が伝わっていない。
- ・風通しや日射遮蔽に関して、構成員個々のオリジナル性と合致しない部分があり、再度グループルールを見直す必要がある。
- ・多様な外観や意匠が持ち味の地場工務店であり、雨戸を減災対策としてグループでルール化するのは難しい。
- ・各構成員が積極的に現場見学会の開催を実行できたが、グループ全体での普及促進まで至らなかった。

【課題解決に向けた平成25年度の取り組み】

- ・平成25年度は、消費者への認知活動をグループとして取り組む。その為に消費者が集うイベント等にグループとして参加する(1回以上/年)。
- ・普及促進部会にて『三重の木でつくる「美し国の家」』のチラシ作成を検討する。
- ・施工グループと設計グループが中心となり技術向上部会を立ち上げ、風通しや日射遮蔽に関して再度ルールの見直しを検討する。
- ・上記の取り組みにより、地域に根ざした家づくりを推進し、前年度よりも多くの供給実績を目指すものとする。

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記を踏まえた地域型住宅の特徴等(性能や地域性等)における共通ルール (任意)	通風性を確保するために、開口部・間取りのルールに基づき設計する。また西面に日射遮蔽対策をし「省エネルギーな家」を実現する	立面図・平面図に通風性と日射遮蔽対策を記入し、事務局にて確認する。
	間取りの中に防災バックの設置位置、水の備蓄位置を取込む。	平面図に防災バックの設置位置、水の備蓄位置を記入し、事務局にて確認する。
	変化していく家族構成などに対応できるよう、スケルトンインフィル(可変間仕切り)の箇所を一か所以上設ける	平面図に可変間仕切りの箇所を記入し、事務局にて確認する。

イ. 効率的で持続性のある住宅生産体制の整備 (a 必須)

【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)

a. 【住宅生産体制の整備と品質維持に向けた取り組み】

- 地産地消という観点からも、地域の資材である「蜜蝋ワックス」や「松阪もめん(防災バック)」などについて、事務局が窓口となりグループで共同購入する。
- 建材・設備メーカーと連携して「省エネルギーな家(仮称)」のパッケージ化を組立て、消費者への提案力アップとコスト削減を進める。
- 上記パッケージ化をはじめ、今後の国の施策に沿った地域型住宅を地場工務店が建築できるよう、技術向上部会と事務局が中心となり勉強会を開催する。

【平成24年度お取り組みにおける課題】

- ・「蜜蝋ワックス」や「松阪もめん(美し国の家オリジナル防災バック)」は消費者にも好評であり、『三重の木でつくる「美し国の家」』を象徴する地場産業商品となった。ブランド化の観点からも継続推進の必要がある。
- ・平成24年度は試験的に建材・設備メーカーとの連携により、施主様にメリットがある商品(ホルムアルデヒド対策商品等)のグレードアップを行った。平成25年度はグループとして取り組む必要がある。

【課題解決に向けた平成25年度の取り組み】

- 消費者向けのイベントにグループとして参加する際に、地場産業商品も共同参加頂き一体での地域型住宅ブランド化事業の認知活動を進める。
- 今後の大きな課題でもある「省エネルギー」をグループのテーマとして、建材・設備メーカーと連携を図ることで、「省エネルギーな家(仮称)」のパッケージ化を組立てる。そして消費者への提案力アップとコスト削減を目指す。

b. 【住宅生産におけるグループの信頼性向上に資する取組】

- グループで作成した「積算フォーマット」を活用し積算業務の軽減を進める。
- 地域環境美化・安全のため、工事現場の道路に面する部分は出来る限りガードフェンスを設置する。
- 自主検査チェックシートを作成しチェック機能を高める。
- 現場の進捗状況・写真をお客様に定期的に報告。あわせて住宅履歴システム上で管理し、お施主様との情報共有を進める。

【平成24年度のお取り組みにおける課題】

- ・平成24年度はグループ共通の自主検査チェックシートの作成まで至らず、個別施工業者が自社基準で対応していた。グループ共通のシート作成に向け、部会の活動を継続的に行うことが必要である。ただし部会の運用に関しては、構成員から部会の集約が必要との意見があった。
- ・維持管理・劣化対策に関して住宅型式認定の取得並びに活用を目指したが、住宅型式認定取得まで至らなかった。
- ・地域型住宅の信頼性向上には、消費者へのブランド化住宅のPR活動や長期優良住宅のPR活動が必要であるが、グループとして取り組めなかった。

【課題解決に向けて平成25年度に追加する取組み】

- 部会を集約し、自主検査チェックシート作成並びに住宅型式認定取得に向かい活動を始める。
- 一般ユーザー向けイベントへ『三重の木でつくる「美し国の家」』として出店し、長期優良住宅のPR活動を行う。

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記の住宅生産の合理化・効率化に資する取組、安定供給の長期維持体制、グループの信頼向上に資する取組における共通ルール(任意)	地域環境美化・安全のため、工事現場の道路に面する部分は出来る限りガードフェンスを設置する。	敷地図に記入する。また工事中のガードフェンス設置写真を事務局が確認する。
	一般ユーザー向けイベントへグループとして出店し、グループ並びに長期優良住宅のPR活動を行う。	年1回以上 出店参加

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 三重の木でつくる「 美し国の家 」	(地域型住宅供給対象地域) 三重県 北勢・中南勢 地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「 美し国の家 」普及促進協議会	(結成年月) 平成24年4月
3. 平成24年度のグループ番号(必須)	0 1 - 0 2 5 2 - 0 2 4	4 注1
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備(a 必須)		
【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
a. 【維持管理、住宅履歴等の取組み】 地域型住宅の長寿命化にむけて第三者機関を活用して住宅履歴を蓄積、災害発生時にはグループが連携して緊急点検活動を行う。また維持管理等の相談窓口を事務局に設置。 ○第三者機関の住宅履歴を義務化し、それを活用して施主または施工(工務店)に定期点検の事前案内と台風シーズン前の注意喚起のお知らせをする。 ○災害発生時には、緊急点検活動をグループ(特に被災地以外のメンバーが中心となって)で行う。 ○施主様の維持管理費積立促進をするため、ご説明ツールを活用してお引渡し時までに説明。また金融機関ご紹介窓口を事務局に設置 【平成24年度の実績と平成25年度の取組み】 第三者機関での住宅履歴活用は実行できたが、個別住宅の登録状況管理方法が明確となっていなかった。また施工(工務店)ごとにメンテナンス方法等が違ふ為、共通のメンテナンスシート作成まで至らなかった。 ○第三者機関住宅履歴への登録内容チェックシートを作成し、登録後事務局に提出。グループとして管理を行う。 ○維持管理・メンテナンスに関してグループ全体として構築するために維持管理部会を立ち上げる。		
b. 【グループ内の施工事業者が廃業や業態の変化等に対する対応】 ○グループ内の施工業者(工務店)が業態変化等で脱会、廃業した場合には、事務局が他の施工業者(工務店)の紹介をし維持管理業務の引継ぎの斡旋を行う。 ○事務局の相談窓口を設置。お客様が維持管理の相談ができる体制をとる。 【平成24年度の実績と平成25年度の取組み】 事務局に相談窓口は設置したが、共通の維持管理メンテナンス作成に至っていない。 ○維持管理・メンテナンスに関してグループ全体として構築するために維持管理部会を立ち上げる。		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの長期にわたる住宅維持管理体制における共通ルール(任意)	維持管理費積立を促進する為、お引渡し時までに施主様に説明(説明ツール活用)をする。	グループ共通のチェックシートを作成し、施工店が活用。引き渡し後事務局に写しを提出。
住宅履歴情報の保存方法(任意)	第三者機関の住宅履歴登録を義務化し、情報の蓄積を行う。	登録証明書写し
エ. グループの技術力の向上(a 必須)		
【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
a. 【工務店の技術向上に対する取組み】 当グループでは、長期優良住宅認定において未経験の構成員が含まれる。その対応として勉強会等の計画を立て実施する。 ○グループで長期優良住宅に関する技術力向上の為、勉強会を開催する。 ○平成25年度「地域型住宅ブランド化事業」における当グループの仕様・共通ルール説明会を開催する。 ○技術力向上の為、構造見学会等を利用し講習会を開催する。 【平成24年度の実績と平成25年度の取組み】 平成24年度の長期優良住宅勉強会は自主参加で行った為、構成員全体への浸透が進まなかった。 ○グループで長期優良住宅の勉強会を開催(2回程度)。県の住宅生産協議会の応援も頂く。 ○平成25年度「地域型住宅ブランド化事業」における当グループの仕様・共通ルール説明会を開催する(1回)。		
b. 【新たな技術等の導入・開発の取組み】 「三重の木」認証材を活用した地域型住宅をさらに発展させるため、将来グループとしてゼロエネルギー住宅など国の施策に沿った住宅建築に向けてグループで活動していく。 ○将来グループとして各構成員が国の施策に沿った住宅建築が行えるよう、勉強会やセミナーを継続的に行う(グループとして開催あるいは国や市町村・流通やメーカーの勉強会・セミナー)。 【平成24年度の実績と平成25年度の取組み】 各種勉強会・セミナーは随時案内をおこなったが、参加は各構成員の自主性で行った為、グループとしての取組みにならなかった。 ○平成25年度は3か月スパンでスケジュール化し構成員への周知をはかる。		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの技術力の向上における共通ルール(任意)	地域型住宅の仕様勉強会、長期優良住宅等研修会の受講。	事務局による勉強会、研修会参加の管理

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 三重の木でつくる「美し国の家」	(地域型住宅供給対象地域) 三重県 北勢・中南勢 地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「美し国の家」普及促進協議会	(結成年月) 平成24年4月
3. 平成24年度のグループ番号(必須)	0 1 - 0 2 5 2 - 0 2 4	4 注1

4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み

オ. 地域産業の活性化(a, 必須)

【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)

- a. 地域型住宅『三重の木でつくる「美し国の家」』では、以下の考え方で地域材を「三重の木」認証材とした。
- 1、当グループの地元である三重県は古くから木材の産地であり品質管理も積極的に行っている。また住宅部材に適した木材が豊富で安定供給体制の実現が可能である。
 - 2、「三重の木」認証材は認証制度・出荷体制とも整っており、合法木材である証明性も備えている。
- 【地域材の具体的な使用部位とその使用量】
 ○使用する地域材として「三重の木」認証材とする。
 ○主要構造材(柱・梁・桁・土台)については、その過半以上、「三重の木」認証材(ヒノキ・スギ)を使用する。
 ○主要構造材以外の部位についても以下の項目から使用部位を選択し、「三重の木」認証材(あかね材含む)を1箇所以上使用する。(①その他の構造材②造作材③内装材)
 【平成24年度の取組みにおける課題と平成25年度の取組み】
 平成24年度は概ね問題なく取組めた。一段と「三重の木」利用促進協議会と連携を取り普及活動を進める。

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半以上に「三重の木」認証材を使用。	「三重の木」認証制度に基づき、証明書写しを事務局に提出。
	主要構造材以外の部位についても以下の項目から使用部位を選択し、「三重の木」認証材(あかね材含む)を1箇所以上使用する。(①その他構造材②造作材③内装材)	「三重の木」認証制度に基づき、証明書写しを事務局に提出。

- b. 【使用する地域材情報のグループ構成員による共有方法】
 事務局を中心に「三重の木」利用促進協議会(三重県木材協同組合連合会内)と連携を図り、情報取得をする。また、得た情報は事務局より構成員に配信する。

- c. 【地場産業(瓦・畳・襖等)・地場産業等の積極的な活用】
 地場産(三重県)の材料である「蜜蝋ワックス」や「松阪もめん」等を地域型住宅に取り込むことが地場産業の活用につながると考え、平成24年度は「松阪もめん防災バック」を『三重の木でつくる「美し国の家」』オリジナルで作成。

- d. 該当なし

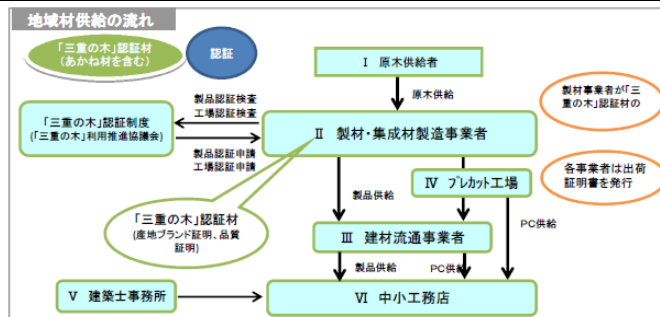
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材情報の共有、地場産業等の積極的活用、街並みガイドライン等に関する共通ルール(任意)	地域の資材である「蜜蝋ワックス」や「松阪もめん(防災バック)」を地域型住宅に取り込み地場産業の活用を進める	平面図に使用箇所や設置位置を記載。事務局に提出。

その他(任意)

【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)

【補足】地域型住宅の地域材の流れ

○地域材の流れに関して平成24年度は概ね問題なく進んだので平成25年度も継続して進める。
 また一部流通を介さずに、地域材の調達を行う場合がある(主要構造材以外で地域材が使用する場合など)。
 右記フロー図は代表的なものであり、



注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

※) グループの取組に関する補足説明は、様式3-3の「その他」の欄に記載してください。

グループ構成員の追加申請

グループ番号	03-0124-0298	グループ名称	「美し国の家」普及促進協議会
--------	--------------	--------	----------------

追加構成員リスト

注6 注7

県番号	No	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	被災地	補助金活用実績	平成24年(1月~12月)実績	
I. 原木供給									地域材(丸太)供給量(m ³)	
	I-1									m ³
	I-2									m ³
	I-3									m ³
	I-4									m ³
	I-5									m ³
II. 製材・集成材製造・合板製造									生産量	うち該当地域材
	II-1	株式会社オオコーチ		515-0063	三重県松阪市大黒田町472番地	0598261551			9,000 m ³	1,000 m ³
	II-2	三重中央木材加工協同組合		515-0055	三重県松阪市田村町485番地1	0598214022			1,500 m ³	100 m ³
	II-3								m ³	m ³
	II-4								m ³	m ³
	II-5								m ³	m ³
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)									木材供給量	うち該当地域材
	III-1								m ³	m ³
	III-2								m ³	m ³
	III-3								m ³	m ³
	III-4								m ³	m ³
	III-5								m ³	m ³
IV. プレカット									プレカット戸数	うち長期優良住宅
	IV-1								戸	戸
	IV-2								戸	戸
	IV-3								戸	戸
	IV-4								戸	戸
	IV-5								戸	戸
V. 設計									木造住宅設計戸数	うち長期優良住宅
	V-1								戸	戸
	V-2								戸	戸
	V-3								戸	戸
	V-4								戸	戸
	V-5								戸	戸
VI. 施工									元請の新築住宅供給戸数	うち木造の長期優良住宅
	VI-1								戸	戸
	VI-2								戸	戸
	VI-3								戸	戸
	VI-4								戸	戸
	VI-5								戸	戸
VII. 木材を扱わない流通										
	VII-1									
	VII-2									
	VII-3									
	VII-4									
VIII. その他()										
	VIII-1									
	VIII-2									
	VIII-3									
	VIII-4									

■記載上の注意

- 注1) グループNoの欄は、「平成25年度地域型住宅ブランド化事業に関するグループの採択の結果について(採択通知)別紙」記載のグループ番号を記入してください。(例:03-0XXX-0\$\$\$)
- 注2) 事業者名、代表者名、郵便番号、所在地、電話番号は、「様式2-3確認書」に記載の内容を正確に転記してください。
- 注3) 県番号の欄は、「県番号」のシートを参照して入力してください。
- 注4) 郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。(例:000-0000)
- 注5) 電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。(例:0000000000)
- 注6) 「被災地」の欄については、「VI施工」の事業者について、主たる事業所(本店)が、「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」に基づく「特定被災区域」に存する場合、○を付けて下さい。参照:内閣府HP (<http://www.bousai.go.jp/2011jyosei-tokutei.html>)
- 注7) 「補助金活用実績」の欄については、「VI施工」の事業者について、過去に、地域型住宅ブランド化事業や木のいえ整備促進事業等、長期優良住宅の整備に対する補助を受けたことがある場合は○を付けてください。なお、平成24年度地域型住宅ブランド化事業については、補助金の交付はまだなされていなくても、補助金交付決定が下りている事業者については、○を付けてください。
- 注8) 構成員は本社を登録してください。すなわち、所在地は本社の情報、実績は支社や営業所等を含む会社全体の実績を記入してください。また、「直近3年平均」とは平成22年から24年の3力年における1年当たりの平均を記載して下さい。
- 注9) 複数の業者がある場合、業種(I、II...)毎に、平成24年(1月~12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。
- 注10) I~VII以外の業種の構成員がある場合は、VIIIその他に記載してください。()内に業種名を記入ください。
- 注11) 行が不足する場合は、行末に追加して下さい。
- 注12) この用紙の大きさは、日本工業規格A4としてください。

グループ構成員（施工）の登録情報の変更申請

グループ番号	0	3	—	0	1	2	4	—	0	2	9	8
グループ名称	「美し国の家」普及促進協議会											

変更の内容（施工構成員）

No	VI-25	事業者名	服部建設株式会社
変更項目	変更前		変更後
事業者名			
代表者名	■		■
郵便番号			
所在地			
電話番号			

No		事業者名	
変更項目	変更前		変更後
事業者名			
代表者名			
郵便番号			
所在地			
電話番号			

No		事業者名	
変更項目	変更前		変更後
事業者名			
代表者名			
郵便番号			
所在地			
電話番号			

2枚目以降

グループ番号	0	3	—	0				—	0		
グループ名称											

変更の内容（施工構成員）

No		事業者名	
変更項目	変更前		変更後
事業者名			
代表者名			
郵便番号			
所在地			
電話番号			

No		事業者名	
変更項目	変更前		変更後
事業者名			
代表者名			
郵便番号			
所在地			
電話番号			

No		事業者名	
変更項目	変更前		変更後
事業者名			
代表者名			
郵便番号			
所在地			
電話番号			

No		事業者名	
変更項目	変更前		変更後
事業者名			
代表者名			
郵便番号			
所在地			
電話番号			

